

スポーツ政策論Ⅱ

科目ナンバリング SPS-304
選択 2単位

大山 高

1. 授業の概要(ねらい)

スポーツ政策論Iでは、スポーツ振興に関する国や地方自治体の取り組みを学び、スポーツ政策論IIではJリーグ及びJリーグクラブが取り組むスポーツ振興の施策について学習する。

Jリーグは、地域に根差したスポーツクラブを核としたスポーツ文化の振興という理念を掲げ、日本のプロスポーツリーグではじめて「地域密着」を標榜した。Jリーグが生んだ地域密着という理念ないし、ホームタウン活動を通じたJクラブの在り方は、ドイツが原点となっている。このように、ドイツ型を自認するJリーグが、1993年に開幕して「地域密着」を理念として掲げたことで「地域密着型経営」が世に知れ渡り、日本のスポーツ振興の施策に大きな影響を与えているのである。

本講義では、Jリーグを事例に地域におけるスポーツ振興の現状と課題を学習する。

2. 授業の到達目標

本講義は、日本におけるスポーツ振興の方策や行政の取り組みについて、Jリーグ及びJクラブを参考に知識の習得を目標とする。

3. 成績評価の方法および基準

三年生以上が専門的に学ぶ科目のため、成績評価基準の厳しさは本講義独自の設定である。受講する前には、必ずガイダンスに出席し、下記基準を確認すること。

試験：期中に抜き打ち記述式テスト&1週間単位で出されるレポート 計「70点」。

平常点：「30点」。具体的な欠席回数の許容範囲はガイダンスで伝える。

平常点は出席点となり、指定する欠席回数をオーバーすると評価対象外となる。

※本講義の特徴は授業中に「(学生を指名して)その場で意見を求める」ことが多い

※ディスカッション形式となる(つまりグループワークもあり)

※毎回小テストの実施は授業の進行によるため、抜き打ちテストとなる

※公欠、病欠は証明書があれば、小テスト実施日の欠席であっても認める

以上を総合的に評価

4. 教科書・参考文献

教科書

大山 高 『Jリーグが追求する「地域密着型クラブ経営」が未来にもたらすもの』 (青娥書房)

参考文献

『スポーツ白書』 SSF笹川スポーツ財団

『スポーツ政策論』 (成文堂)

5. 準備学習の内容

指定された教科書の熟読、および小テストに向けた事前学習

6. その他履修上の注意事項

この講義では、講師自身が実際に仕事として携わってきた企業(実業団)チームの運営、選手のブランドマネジメント、Jリーグクラブのプロスポーツクラブ経営、広告代理店での権利ビジネス、Jリーグブランドマーケティングを事例に学習していきます。

7. 授業内容

- | | |
|--------|---|
| 【第1回】 | ガイダンス |
| 【第2回】 | 地域のスポーツ政策(1)
地方自治体のスポーツ行政 |
| 【第3回】 | 地域のスポーツ政策(2)
自治体におけるスポーツ政策ネットワーク |
| 【第4回】 | 地域スポーツクラブ |
| 【第5回】 | Jリーグの地域密着型経営とJクラブのホームタウン活動 |
| 【第6回】 | トップレベルスポーツクラブのマネジメント |
| 【第7回】 | ドイツ・ブンデスリーガの地域密着(オンライン授業) |
| 【第8回】 | 日本における地域スポーツ振興に関わる組織(1)
企業スポーツと総合型地域スポーツクラブ |
| 【第9回】 | 日本における地域スポーツ振興に関わる組織(2)
地域密着を唱える他のプロスポーツと大学 |
| 【第10回】 | Jクラブと大学の地域スポーツ振興 |
| 【第11回】 | 部活動と地域に根差したスポーツクラブ 現状と課題 |
| 【第12回】 | スポーツ施設の利用と管理運営 |
| 【第13回】 | スポーツを核とした地域連携
経済的施策の観点 |
| 【第14回】 | 多摩地域のトップスポーツクラブ(東京ヴェルディ、府中アスレティック)の事例
ゲストスピーカー |
| 【第15回】 | これまでのまとめ 総括 |